

上部消化管内視鏡検査 説明・同意書

コープおおさか病院長 殿

説明医 _____

印 _____

●検査の内容

上部消化管内視鏡検査は、消化管の中を内視鏡で観察し、診断を行う方法です。

検査中に何か異常が認められたり、また疑われた場合には必要に応じて次のようなことが行われます。

- 1) 粘膜組織の一部を鉗子でつまみ(生検)、組織検査を行います。
- 2) 病変部位に安全な色素を散布して、病変を明瞭にして診断の助けとします。
- 3) 出血などが見られた場合には止血操作(内視鏡止血)を行います。

●経鼻内視鏡の長所と短所

経鼻内視鏡は、細くて楽に検査が受けられますが、細いために操作性や画質に劣ります。

具体的には、生検困難な部位が存在し、そこに病変があると生検できないことがあります。

そのときは、後日、経口内視鏡で再検査、生検が必要な場合もあります。

●検査の危険性

- 1) 内視鏡による粘膜障害(粘膜亀裂)や裂傷、穿孔
- 2) 前処置などの薬剤によるアレルギー、血圧低下、顔面紅潮など
- 3) 生検による出血(止血機能の悪い方は危険度が高くなります)
- 4) 経鼻内視鏡では、まれに鼻出血がおこる
- 5) 検査前にあった疾患の悪化、その他予期せぬ容態の変化

万一、偶発症が発生したときは、外科処置を含め、最善の処置をいたします。

なお当院では患者の権利として、診断や治療法について、他医療機関の医師の意見を求めることのできるセカンドオピニオンを保証しております。ご希望があればお申し出ください。

私は、上記医師より上部消化管内視鏡に関する内容等について十分な説明を受け、内容を理解しましたので、その実施に同意します。

年 月 日

患者様または代理人様 ご署名欄

代理人様とご本人さまの続柄

上部消化管内視鏡検査

説明・同意書

コープおおさか病院長 殿

説明医

印

●検査の内容

上部消化管内視鏡検査は、消化管の中を内視鏡で観察し、診断を行う方法です。

検査中に何か異常が認められたり、また疑われた場合には必要に応じて次のようなことが行われます。

- 1) 粘膜組織の一部を鉗子でつまみ(生検)、組織検査を行います。
- 2) 病変部位に安全な色素を散布して、病変を明瞭にして診断の助けとします。
- 3) 出血などが見られた場合には止血操作(内視鏡止血)を行います。

●経鼻内視鏡の長所と短所

経鼻内視鏡は、細くて楽に検査が受けられますが、細いために操作性や画質に劣ります。

具体的には、生検困難な部位が存在し、そこに病変があると生検できないことがあります。

そのときは、後日、経口内視鏡で再検査、生検が必要な場合もあります。

●検査の危険性

- 1) 内視鏡による粘膜障害(粘膜亀裂)や裂傷、穿孔
- 2) 前処置などの薬剤によるアレルギー、血圧低下、顔面紅潮など
- 3) 生検による出血(止血機能の悪い方は危険度が高くなります)
- 4) 経鼻内視鏡では、まれに鼻出血がおこる
- 5) 検査前にあった疾患の悪化、その他予期せぬ容態の変化

万一、偶発症が発生したときは、外科処置を含め、最善の処置をいたします。

なお当院では患者の権利として、診断や治療法について、他医療機関の医師の意見を求めることのできるセカンドオピニオンを保証しております。ご希望があればお申し出ください。

私は、上記医師より上部消化管内視鏡に関する内容等について十分な説明を受け、内容を理解しましたので、その実施に同意します。

年 月 日

患者様または代理人様 ご署名欄

代理人様とご本人さまの続柄